

JA・県・本局と連携し、地域資源を活用した耕畜連携の体制づくりをサポート

耕畜連携を検討していた地域に対し、耕畜連携の体制づくりを働きかけ、本局とも連携して「国内肥料資源活用総合推進支援事業」の申請をサポート

○ 施策分類

普及・技術対策（国内肥料資源活用総合推進支援事業）

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和4年6月のJAあいち知多営農センターとの意見交換で、同JA管内には畜産農家が多く堆肥を容易に確保できることから、これを地域資源として有効活用できる耕畜連携の取組を検討していることを把握。

○ 取組の内容

JAあいち知多営農センター、愛知県農林水産事務所及び畜産事業者と県拠点が打合せをした際、令和4年度第2次補正予算で「国内肥料資源活用総合推進支援事業」が措置されたことを情報提供し、同事業の活用を提言。

また、部局の垣根を越えたサポート体制の働き掛けを行った。その後、事業の実施主体となる組合の設置状況の把握や本局主催の当該事業に係る説明会を案内するなどフォローアップに努め、事業申請時には、本局と連携した伴走支援で、申請をサポート。

○ 効果・成果、今後の方向性

申請内容が当該事業に採択され、堆肥散布に必要なマニアスプレッター及びダンプベッセルを購入。また、堆肥を使用した水稻栽培での効果実証に取り組み、稲作農家への堆肥販売を予定。

今後も、地域の情報が集まる営農センター等との意見交換に取り組み、地域農業の情報把握に努め、課題を踏まえて事業・制度の案件形成をフォロー。

体制図

